

**大原薬品工業株式会社 鳥居野包装工場 本格稼動のお知らせ**

— 「最新鋭次世代型包装工場」として最大 20 億錠の両面印刷対応が可能 —

大原薬品工業株式会社（本社：滋賀県甲賀市、代表取締役社長：大原誠司、以下大原薬品）は、予てより稼動準備を進めていた鳥居野包装工場（以下包装工場）の本格稼動を開始致しました。

本包装工場は、大原薬品が日本で初めて行った錠剤両面印刷を、あらゆる錠剤に対しても行うことのできる印刷設備を兼ね備え、また、PTP 包装においても、全てピッチコントロール対応ができるプリスター機を備えております。大原薬品はこの包装工場を「最新鋭次世代型包装工場」と位置づけ、今後自社のみならず、他社からの包装受託も積極的に取り込む方針です。

包装工場の概要は以下の通りですが、工場内には立体自動ラック倉庫（一般ゾーン・クリーンゾーン）が設置され、5000パレット強の保管スペースを持ち、スムーズな場内での製品・半製品・資材等の搬送が可能となっております。

大原薬品は医療過誤防止の取り組みを以前より積極的に進めております。医療の現場で実際に調剤されておられる薬剤師さんの意見を、株式会社エッセンシャルファーマ（グループ調剤大手のクラフト株式会社と大原薬品が 2006 年に設立した合併会社）を通じて、プランニングやアイデアを頂き製品化しております。ピッチコントロールや両面印刷のアイデアもその一例です。

大原薬品の思いは、「医療現場の願いを形にかえて」です。大原薬品は今後も必要とされている医療現場のニーズを、スピーディーに具現化していける会社であり続けたいと思っております。

**◆ 包装工場概要 ◆**

- ① 構造/階層： ALC鉄骨造（準耐火建築物）、ALC 3階建
- ② 建築面積： 4071.37 m<sup>2</sup>
- ③ 床面積：  
3F：1618.71 m<sup>2</sup>  
2F： 613.00 m<sup>2</sup>  
1F：4075.65 m<sup>2</sup> （延べ面積：6307.36 m<sup>2</sup>）
- ④ 立体自動ラック倉庫
  - ・一般ゾーン： 4,858 パレット
  - ・クリーンゾーン： 289 パレット
- ⑤ 生産数量 最大 20 億錠/年
- ⑥ 総工費 40 億円（新規設備含む）

**◆ 大原薬品について ◆**

大原薬品は 1957 年に創業、1964 年に設立され、「全ては患者さんの立場から 医療の未来のために信頼の医薬品を」をモットーに、オーファンドラックの開発及びジェネリック医薬品、原料医薬品の開発・製造・販売を行っています。昨年度の売上高は 183 億円（対前年 25.5%増）と大きく伸長し、売上利益共に過去最高を更新致しました。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

大原薬品工業株式会社

担当：常務執行役員 生産本部長 中島 啓一

TEL：0748-88-2200 e-mail：info@ohara-ch.co.jp